

CXD-400: Citrix XenApp/XenDesktop ソリューションの設計

このコースは、Citrix のベストプラクティスや様々な業界で実証済みのアーキテクチャに基づいて XenApp や XenDesktop の仮想化ソリューションを適切にアセスメントする方法と設計手法を受講者に提供します。また、受講者は様々なシナリオに基づいた環境のアセスメントと設計を行う機会が得られ、受講者をサポートするツールや参考資料にアクセスすることもできます。

このコースの対象者

アーキテクト、コンサルタント、エンジニアなど、アプリケーション/デスクトップ仮想化ソリューションの設計担当者

受講前の推奨事項

このコースでは、受講者が次の知識および経験を備えていることを推奨しています。

- Citrix デスクトップ仮想化コンポーネント/概念に関する中程度の知識
- プロジェクト管理およびドキュメントのベストプラクティスに関する基本的な理解
- 基本的なプレゼンテーションスキル
- 以下を含む Windows Server に関する知識 (Windows Server 2012R2 または 2008R2)
 - Active Directory
 - DHCP
- ネットワークに関する基本的な知識
- SQL Server – データベース、権限、セキュリティ、高可用性に関する基本的な理解
- 以下を含む物理/仮想ストレージに関する一般的な理解
 - NAS, SAN, SSD
 - CIFS
- ハイパーバイザーテクノロジー (XenServer, Hyper-V, or vSphere) に関する基本的な知識
- 以下のコースを修了または同等の知識を有すること
 - CXD-102 Introduction to XenDesktop 7
 - CXD-300 Deploying App and Desktop Solutions with Citrix XenApp and XenDesktop 7.5

取得できる主なスキル

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- XenApp/XenDesktop アーキテクチャの様々なコンポーネント及び通信プロトコルの理解
- アーキテクチャに関する知識のアプリケーション/デスクトップ仮想化ソリューションへの適用
- ビジネスの機能と要件、アプリケーション、デスクトップ、およびユーザーに注目したアセスメントの実施
- アプリケーション/デスクトップ仮想化ソリューションの設計
- 設計推奨事項の確認と提示

- アプリケーション/デスクトップ仮想化のトラブルシューティング

受講方法

このコースはインストラクタ指導のコースとして提供されており、受講者の主体的な参加が必要な演習を多く含みます。デスクトップやアプリケーションの仮想化に焦点を合わせた演習を通して、概念を実践に応用して頂きます。

コース期間

5 日間

Certification Preparation

このコースでは、Citrix Certified Expert – Virtualization 資格取得に必要な試験の対策を行います。資格に関しては[こちら](#)をご確認ください。

モジュールのトピック

Citrix XenApp/XenDesktop ソリューションの設計コースのモジュールの概要は以下のとおりです。

- モジュール 1：アーキテクチャ
 - XenApp/XenDesktop のアーキテクチャに含まれるさまざまなコンポーネントを識別
 - さまざまなコンポーネントの通信方法および使用しているプロトコルの特定
 - アーキテクチャに関する理解をデスクトップ仮想化ソリューションに適用
 - デスクトップ仮想化設計のトラブルシューティング
- モジュール 2：ビジネス推進要因
 - 複数の業種に固有のビジネス推進要因を特定
 - ビジネス推進要因に優先順位を付けるための組織のプロジェクトチームとの議論を促進
- モジュール 3：データの収集
 - 与えられた組織環境でデータ収集の最適な方法を特定
 - 収集するアプリケーションデータの種類、収集方法、アプリケーションデータ収集ツールの特定
- モジュール 4：ユーザーセグメンテーション
 - FlexCastのさまざまなモデルの識別
 - ユーザーの最適なセグメンテーション方法を選択する際の推奨事項の特定
- モジュール 5：アプリケーションアセスメント
 - アプリケーションアセスメントのプロセスの理解
 - 与えられた組織例でアプリケーションの合理化をデモンストレーション
 - ビジネスニーズおよび特定のXenApp/XenDesktop配信モデルとの互換性に基づいたアプリケーションスイートのアセスメント

- モジュール 6：プロジェクト管理
 - 実装を成功させるためのプロジェクト管理の重要性を理解
 - プロジェクト計画の役割の特定
- モジュール 7：ユーザー設計
 - ユーザーグループおよびデバイス（エンドポイント）設計に関する重要な決定
 - 設計書のためのユーザーグループの組織
 - ユーザーの主要な問題の特定および優先順位設定
 - ユーザープロファイルの設計
 - 印刷の設計
- モジュール 8：Receiver
 - アプリケーションの配信方法の定義
 - Citrix Receiver の展開および保守の設計
- モジュール 9：リソース要件の推奨事項
 - リソース要件の特定
 - リソース推奨事項に関する重要な設計の決定
- モジュール 10：アクセス
 - 認証ポイント（StoreFront および NetScaler Gateway）の設計
 - ユーザー認証およびリモートアクセスを含むセッションおよびアクセスポリシーの決定
 - 仮想デスクトップオペレーティングシステムアクセスの設計
 - デスクトップ仮想化ソリューションの帯域幅の計算
- モジュール 11：デスクトップ
 - マシンカタログおよびグループに関する重要な設計の決定
 - ユーザープロファイル、ユーザーポリシー、Personal vDisk の使用法を含むカスタマイズの設計
 - 適切な印刷の設計
- モジュール 12：アプリケーション配信
 - アプリケーションのインベントリおよび統合の要件を満たすソリューションの設計
 - XenApp/XenDesktop 環境の配置およびアプリケーション配信アーキテクチャに影響するアプリケーションの特性の特定
 - アプリケーション配信の設計
- モジュール 13：デスクトップ配信
 - サイト、サイトごとの XenDesktop Controller 数、負荷分散を含むデスクトップ配信トポロジの設計
 - データベース選択、ライセンスサーバー、Active Directory 統合を含む、基となるインフラストラクチャの設計
 - XenDesktop ユーザーおよび仮想デスクトップのベースラインポリシーを理解

- モジュール 14：ネットワークレイヤ
 - 重要な高可用性設計の決定
 - XenApp/XenDesktop インフラストラクチャをネットワークインフラストラクチャに統合
 - WAN 最適化、マルチストリーム ICA、DHCP 機能の理解
- モジュール 15：ストレージおよびプロビジョニングレイヤ
 - ストレージソリューションに関する重要な設計の決定
 - PVS と MCS の機能および相違点の特定
 - PVS または MCS を使用したプロビジョニングの設計
- モジュール 16：プラットフォームレイヤ
 - アプリケーション/デスクトップ仮想化ソリューションで使用するハイパーバイザーに関する重要な設計の決定
 - VDI ハードウェア、共有ハードウェア、アプリケーションハードウェア、制御ハードウェアを含む正確なハードウェア計算
- モジュール 17：運用
 - 考えられる移行アプローチの理解
 - システム監視の設計
 - アプリケーション配信に関する重要な設計の決定
 - 移行アプローチ
 - バックアップおよびシステム監視
 - バックアップ
 - システム監視
- モジュール 18：検証
 - Citrix オンラインツールを使用したアセスメントおよび設計の決定の検証
 - 完全なステークホルダープレゼンテーションの作成
 - 設計の決定の効果的なプレゼンテーションおよびサポート
- 最終演習

©2014 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix® および NetScaler™ は、米国およびその他の国における Citrix Systems, Inc. の商標です。その他のすべての商標および登録商標は、該当する各社の財産です